

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草加校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1 時間当たり最大 3 枠の支援が出来るように調整している。
	②	職員の配置数は適切であるか			○	利用者 10 名を超える場合 3 名の人員が必要なため、あと 1 人配置が必須。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		角のカバーなど、安全に配慮した環境を整えている。トイレ前の大きな段差への配慮がなされていない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			週に 1 回のミーティングで改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1 年に 1 回実施し、結果を業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所のホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			定期的に県庁の監査を受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		初任者研修や他校舎見学などの研修を実施しているが、非常勤の研修機会が確保されていない点が気になる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			初回面談でニーズ・課題を伺い、個別支援計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一書式のアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週に 1 回のミーティングでプログラムの変更等の話し合いをしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		定着具合を見て変更はするが、変更までのスパンが長いことが気になる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			ご要望に応じて、長期休暇の宿題を支援することもある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	原則個別活動のみの実施である。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援の分担や内容をあらかじめ確認してから、支援に臨んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後に気になったことを書面に記録し、後日ミーティングで確認することがある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援の様子を毎回記録し、次の支援に反映できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回以上見直しを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			課題やニーズに合わせて、基本活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			原則として、支援に携わっている指導員が参加し、児童の様子を伝えている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校の情報は保護者から伺ったり、学校のホームページを確認することで得ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				（該当なし）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		前例がないものの、ご要望に応じて対応は出来るようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		前例がないものの、ご要望に応じて対応は出来るようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			草加市支援センターと連携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	原則事業所内で支援を行っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			草加市障害児通所事業所連絡協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援後に子どもの様子をお伝えする時間をとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現時点で実施したことはない。今後ご要望が出てくることを考えて、ペアレントトレーニングができるよう準備が必要である。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に説明を行っている。

者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			フィードバックやモニタリングの時間を中心にお話を伺っている
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	対応したことがないため、ご要望に応じて対応ができるように準備が必要である。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決体制を整備し、契約の際に説明し、重要事項説明書にも記載している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ブログの更新によって情報が発信できるので、更新頻度を上げ、周知できるようにする。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関するものは、鍵のかかるロッカーに入れて保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個別療育である点を活かし、その児童に合わせた伝え方を実施している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新規利用者を募りたいときに、外部向けイベントを実施していけるようにする。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルは作成し、ファイリングしているので、年1～2回等定期的に研修を行い、内容を徹底できるようにする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回、虐待防止研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束に関するマニュアルは作成しているものの、保護者の方への周知徹底がない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	原則食物を扱うことはないものの、アレルギーの有無は基本情報シートに記載し、把握している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例をファイリングし、閲覧できるようにしている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草加校 保護者等数（児童数）38 回収数 22 割合 57%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2		・遊ぶスペースと学習スペースが分かれており、子どもも理解している。 ・体を動かす場所ではないから、広くなくて大丈夫。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3		・希望する日数入れることが難しいことがある。 →希望の日時をあらかじめ伺い、お休みが出た際に連絡が出来るようにする。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	21	1		・保護者の話をよく聞いてくれて、それに応じた計画・プログラムを立ててくれていて、大変満足している。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	20	2		・宿題ときらりの課題、どちらが先か子どもと決めて取り組んでいる。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	16	5	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			・支援の説明やコピー代等の利用者負担金の説明があった。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	3		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	14	6	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	7		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	2		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	8	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	5		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	8		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌がったり、苦痛に思うことなく通えていて安心している。</li> <li>・気分にもうがあり、行きたいと思える日と思えない日がある。</li> <li>→その日の調子に合わせて課題を設定し、児童にとっての負荷が大きくなりすぎないように配慮する。</li> </ul>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	2		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。